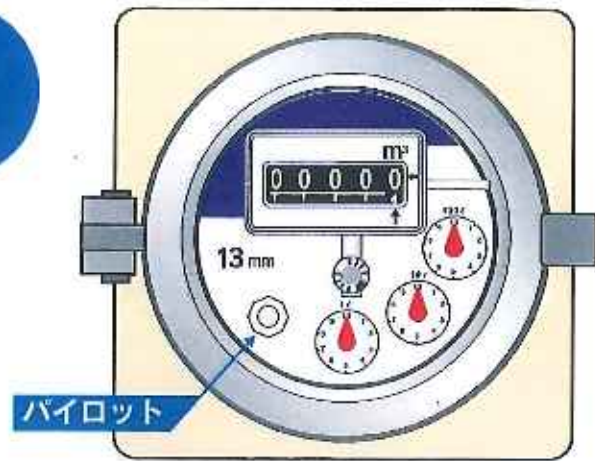


水道メータの読み方 と漏水の発見方法

使用水量は上部の黒地の白い数字を読みます。単位は立方メートルです。又、蛇口をすべて閉めているのにパイロットが動いていたら漏水しています。



漏水を発見したときは

- 宅地内漏水の場合
 - ①応急処置として、メータボックス内の止水栓を止めてください。
 - ②宅地内の漏水は町水道指定工事店に修理の申し込みをしてください。
 - ③修理費用は使用者の負担になります。
- 公道部漏水の場合
環境衛生課上下水道係 ☎ 0943-32-1138 に連絡してください。

水道の新設、改造工事は指定工事店へお申し込みください。

■お申し込み

新設、増設、改造、修理などは、かならず町の指定を受けた水道工事店へお申し込みください。みなさまに代わって、いろいろな手続きを行ってくれます。

はい
広川町水道指定
工事店です



■工事の費用

みなさまのご負担になります。金額は使用される材料、水道管の口径などによってちがいます。くわしくは水道指定工事店へおたずねください。

■無届け工事にご注意ください

町水道指定工事店でないと、無資格または無届け工事となり、給水条例によって水を止められたり、過料を科せられますのでご注意ください。

水道工事
お願いしたいんですが。



おいしい水がのみたい！

水道のじゃ口からあふれる水をそのまま「ゴクゴク」飲む、といった光景は近ごろあまり見られなくなっています。水源地や名水などのミネラルウォーターが、代わりの飲料としての利用が増えて、おいしさへのこだわりも高まって来ています。又、一方では「水道水がおいしくなった」という声も聞かれますが、いったいおいしい水とはどんな水なのでしょうか。

おいしい水って、どんな水？

「おいしい」というのは人の味覚によるものですから、いちがいに判断するのはむずかしいのですが、1985年に厚生労働省が専門家を集め「おいしい水の要件」を設けました。それが表Aです。

- ①蒸発残留物は、水を加熱して蒸発させた後の残留物、主にミネラルの含有量を示し、多いほど苦みが増し、適量だとまるやかな味がします。
- ②硬度は、カルシウムとマグネシウムの含有量を示し、高いのが硬水でコクがあり、低いのが軟水で淡泊な味です。一般的にカルシウムに比べて、マグネシウムの多い水は苦みが増します。
- ③遊離炭酸は、水中に溶けている炭酸ガスのことです。この成分は水に爽やかな味となり、多すぎると刺激が強い。
- ④KMnO₄は、過マンガン酸カリウム消費量のことで、値が高いほど、水中の有機物の含有量が多く（つまり汚れており）、消毒に用いる塩素の量が多くなる。
- ⑤臭気強度は、土臭さ、生臭さ、腐敗臭、カビ臭さ、藻類臭など、水につくにおいの強さを数字で表したものです。
- ⑥残留塩素は、消毒に用いる塩素の量、多いほどカルキ臭がする。

表の条件を満たしていれば、「おいしい水」と言えます。また、水温もおいしさを感じる条件の一つで、12～14℃に冷やした水が、最もおいしいと言われています。

地下水や湧き水が特においしいと感じられるのは、適度なミネラルを含んでいること、異状な味や臭いがなく、汚染が少なく、薬品消毒をしていないこと、水温などと大いに関係がありそうです。



表A 厚生労働省「おいしい水研究会」が定めた快通水質項目

	水質項目	目標値
水を おいしくする 条件	①蒸発残留物	30～200mg/ℓ
	②硬度	10～100mg/ℓ
	③遊離炭酸	20mg/ℓ以下
水の味を まずくさせない 要件	④KMnO ₄ 消費量	3mg/ℓ以下
	⑤臭気強度	3以下
	⑥残留塩素	1mg/ℓ程度

水道水は、安全。だから、もっとおいしく飲みたい。

「水道水はおいしい水」とはいえ、生で飲むのはちょっと……と思われる方も多くでしょう。その原因は塩素によるカルキ臭ではないでしょうか。塩素の消毒は水中の病原生物による感染を防止するとともに、汚染から防護するために必要な処置です。水道水は「安全性」を大切にしているからです。

そこで、家庭でもっと水道水をおいしくする工夫がないのでしょうか。こんな方法があります。

- ①煮沸する
5分程煮沸すると塩素が蒸発します。冷蔵庫で保存するといいでしょう。
- ②朝一番の水はさける
朝一番や長い間留守にしたあとのじゃ口から出る最初の水は、水道管に長時間溜まったままになっています。このため、消毒に必要な残留塩素がなくなっていたりすることがありますので、念のため、バケツ一杯程度の水は、飲料や料理用以外（洗濯や掃除用）に使用されることをお勧めします。
- ③炭や活性炭を利用する
カビ臭さを除くには、木炭や活性炭を水の中に数分間浸し、取り出して煮沸するといいでしょう。
- ④総トリハロメタンを除く

塩素が水中の有機物と反応して生ずる有害化学物質、総トリハロメタンが問題になっています。もちろん、総トリハロメタンの量は厚生労働省が定めた水道水の水質基準値によって基準値（1ℓ中0.1mg）が設けられ、健康に害はありません。でも気になる場合は、蓋をはずした容器で水を3分～5分間ほど沸騰させることで、ほとんどなくなってしまいます。この時、よく換気を行うことが大切です。